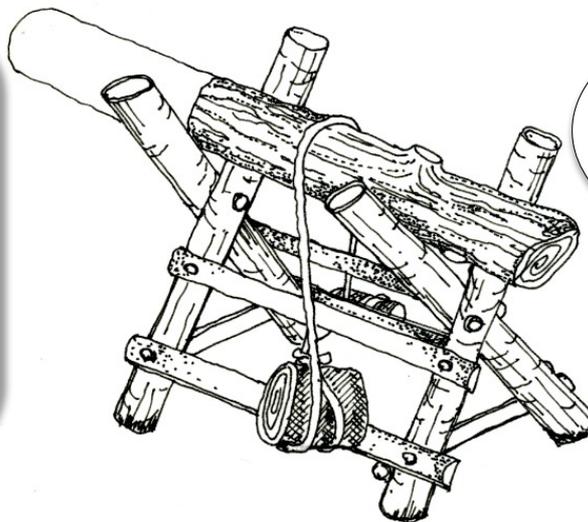


斜里町議会議員 4期目  
桜井あけみ  
議会レポート  
No. 57

2020年 12月27日発行



この冬も薪作り  
しましたよ！  
うちの旦那さん  
ですけど。感謝

みなさん こんにちは

あっという間の12月になり、議会が終わってバタバタと過ぎて。

北海道で再びコロナ感染が広がり、医療施設、介護施設、学校など大きな広がりを見せています。

幸い、近隣町での感染はないようですが、気の抜けない状態が続いています。

そんな中、12月定例会が開催されました。

議会でのコロナ感染対策とコロナに関係する動きとしては、議会発行の「議会だより」でも紹介されていますが、現在の仮議場では、各議員、そして行政側の座席にビニールを貼った衝立が設置されています。飛沫防止の対策ですが、私の席から議長や町長の間には4枚のビニールがあるため、ほとんど見えない状態でした。

また、3月議会からは町長の町政報告が略され、内容の書面配布となっています。しかし、そのほかの質疑についての時間的短縮などはなされていないために、9月議会の頃、町の方から、町政報告の内容がわからない、知りたいという声がありました。

そうした対応は、議会運営委員会で決めることなので、先日、委員長会議の席で広報委員会から、再開の申し入れを行いました。

今、どうすることが必要なのか？常に現状を捉えて臨機応変な対応を取ることが大切だと思います。

リモート会議も同様です。5名以上の議員が距離を取りながらも、何時間も顔を合わせて会議を続けることの課題。すでに、議会の委員会ではリモート会議が認められていますが、斜里町議会は取り組むこともなく今に至っています。

コロナ禍から年が明ければ1年になろうとしています。

この1年で、さまざまなことが見えてきたと思います。

そんな中での、12月定例会で決まったこと、議論されたことなど、私の考えも含めて、皆さんにご報告いたします。どうぞ、読んでください。

## ○交流人口についてちょっと考えてみました

今、町は交流人口を増やそうと、そこにお金をかけて動いています。なるほど、ここには住まないけれど、斜里町のために動いてくれる人？それは、観光客かも、企業の人かも、仕事の人、友人、つながり 多様です。例えば、ウトロ地域では地区防災計画に取り組んで計画策定して今も、しっかりやるべきことに取り組んでいます。内閣府からもサポートを受けて、その、きっかけを作ってくれたのは、ずっと以前からウトロ地域の活動を応援してくれて繋がってくれた人。その人たちがさらに繋がって一緒に頑張っている。ガイド事業をウトロで立ち上げた人は観光で来て繋がった人。パン屋の彼女も最初は友人のつながり。これ・・・交流人口？ですね。

私は、交流人口を作るための事業が、必要なのかな？って思っています。総務省が言い出したから？この町は、もうすでに交流人口マックスなはず？！

そう考えると、常連のお客さん、寄付してくれる人たち、企業さん・つながりで移住した家具屋さん！そうじゃない？



## ●やっとなんと！ふるさと納税がスタートです

返礼品付きふるさと納税・やっとなんと斜里町でも実施することになりました。

思えば、一般質問でふるさと納税に取り組んでは？と桜井が質問したのが12年前。

村田町長の時でした。その時は、百平方メートル運動の寄付との整理ができれば、始めるんだろう！と思っていましたが・・・やらず。そして馬場町長に。

町の活性化と、斜里町のPRにつながることを、そして何よりも応援団を作るためにと、実施を訴えてきました。

わたしは、未だに町が何故、実施してこなかったのかという明確な理由がわかりません。

ここに至るまで、なんと！10回も他の議員交えて一般質問で実施を訴えてきた議会です。

この件に関しては、多くの町民の思いと、行政の対応は離れていました。さて、たくさんの方が応援してくれるでしょうか？

## ●期末手当が減額になりました。

11月に臨時議会開催で例年のように国の勧告に従って給与や期末手当の減額や増額が実施されます。で、今年はコロナもあって？期末手当のみ減額となりました。

## ●旧以久科小学校は埋蔵文化財施設になります

以前、斜里中学校の北側校舎が検討されていましたが、老朽化激しく断念したそうです。博物館から少し遠いことと、災害（水害）などが気になります。中学校の北側校舎は教育敷地内です。今後の迅速な対応が必要ですね。

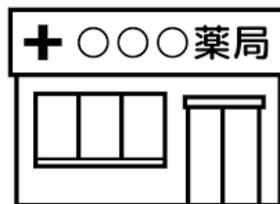
## ●国保病院のすぐ隣に薬局！

現在の診療後に薬局でもらっていた薬を、民間の薬局で処方してもらい受け取るようになります。

雨に濡れないように、屋根付き通路！これまでの薬局は、入院患者さんなどの処方に対応します。



斜里出身の方や、知床ファンの皆さんからも、ずっと「どうしてやらないの？」と言われていたので、よかったです。スタート大幅遅れなので、軌道に乗るまでちょっと時間がかかりそうです。PRしましょう！



## 12月の定例会議・取り組んだコロナの対策と これからの対策は？



1万円で1万五千元分のプレミアム！  
温泉入って夕飯食べて！オードブル注文！  
お寿司の注文～色々使える！地元応援！

●これまで発行して来た「宿泊と飲食」などに利用できるプレミアムクーポン券は、利用期間も延長され、宿泊にも飲食にも区切りなく使えるようになりました。

●知床観光ウィズコロナ対策として、手をかざすと自動的にシュッシュ！と消毒液の出る機械を、希望事業者に千円で販売するそうです。これ、便利でいいですよ！

これまでいくつかのコロナ対策の支援事業を町は取り組んで来ました。でも、コロナの動きとタイミングが合わずに使われなかった、あるいは予算が余った事業などがありました。

仕方ないですよ・・・終わったかな？と思ったら、今回のように大きな感染です。様子を見て対応が必要ですね。

## コロナ後の観光を、こんな時だからこそしっかり構築！

コロナの脅威は、なかなか終わりが見えず大変な状態です。でも、観光に関わる方々からはこんな時だからこそ、しっかりと観光産業としての構築を図ろうという声が出ています。

今回、いくつかの課題解決のために、社会実験として知床自然センターからカムイワッカまでシャトルバスの運行を実施しました。でも、その結果報告や報道の内容には、地元の観光に関わる方、町の方からは不安と疑問の声が出ていました。批判ではありません。町長は、保護が役割の環境課と観光振興の観光課は、企画の段階からしっかり協議してきたといいますが、実際、観光に関わる団体は広報活動に参加した・・・だけ。

しかし、実際は多くの課題に向けての観光サイドとの協議は十分とは言えないと思います。同じテーブルに観光と管理する人たちが席について、保護ありき・観光だけではない、これからの利用と保護という課題について協議して進めていってほしいと思い質問しました。



●こんなつもりで  
ひとつめ  
一般質問  
ふたつめ

## 原生の森を復元する取り組み・植林木の対応は？

知床100平方メートル運動は、全国の皆さんに「原生の森を復元する取り組み」という、約束をして寄付を募ってきました。

一見すると緑に覆われて、森？かと思うかもしれませんが、植林で、しかも同じ種類のアカエゾマツやカラマツ林は、光が当たらないだけではなく、他の植物の成長を阻害する林床になります。そして元々なかった木です。

それは、原生の森に復元する事業にはなりません。風除けのためと言いますが、どんなに時間が経っても、そこに他の樹木が生えることはなく、本来あるべき姿にはなりません。

もう一度、原生の森を復元すること、知床の本来持っている自然のサイクルが生きる環境整備の取り組みを検討してほしいと思い質問しました。

## 町民懇談会の声を 全部公開してください？

みなさんは、町内6箇所で開催された「町民懇談会」に行かれたか？私はウトロ会場に行ってきました。来たくても来られない人も多くいたと思います。そして、なかなかあのような場で、手を挙げて発言は勇気が必要です。そんな中、アンケートではどんな言葉がみなさんから出ていたのか？その全てを、公開してほしいと思い、質問しました。

単なる文句でも、批判でも、提案でもです。広報誌では限られます。

来られなかった人のためにも、それは早くすべきではないかと思えます。

懇談会については、なぜ、病院の院長が謝るの？設置者の町は、何をやっていたの？

という声も多く、あんなスタートではさらに声を出し難くなったという人も多くいらっしゃいました。他の議員さんが、その点について質問もされていました。私も、とても違和感を覚えました。



●こんなつもりで  
一般質問  
みつつめ

勝手なつぶやきですが

ツールは色々。今は恵まれた環境だと思います。なぜ、発信しないのか？

●思いはあっても、それを形や、動きにしていくためには、自分の内から、外に出さなきゃいけないと思う。

内から外に出すと、空容量が生まれます。その空容量に外に出したものが、少し形を変えて戻ります。その繰り返しで、自分が思っているものを形に動きに変えていくことが、例えば「まちづくり」だと思います。

外に出すと、それに対して批判もあり、共感もあり、アイデアも寄せられます。自分にはない視点も得られ、くじけたりもします。

でも、アウトプットをしなければ、インプットはなく、それは形にはならず、固まったまま、終わります。

私の後援会長は「問題のないことが、問題だよ」と言います。

まさしく、この視点です。

私は、町のトップの町長が、何を思っているのか？最近は特に、そこが見えません。みなさんはどうですか？



## 過疎債 カソサイ 斜里町が指定されるけど どういうこと？なんでしょう

新聞に、斜里町が「過疎指定される」らしい記事が出ていました。

私も、それは良かった～と思いましたが、でも、これは「人口の減りが大きい」から指定になるものです。とは行っても、これまでは、清里町みたいに温泉施設が欲しい～と言っても、斜里は過疎債がないのでなかなか無理！とか、国の補助がないものは作れない、と言われて来ました。

じゃあ、今度はじゃんじゃん作れるのか？なのでしょうかね？

その辺含めて、町は、町にとって本当に必要なものを、これからの町のためになるような事業を（これまでも考えて来ているのですが・・・）しっかりと考えて欲しいですね。将来、施設の維持管理が負担にならないように、そしてその効果が十分に発揮できるような先を見通せるものに、取り組めるように、期待しましょう。

そこで、国の補助金を得て取り組んで来た「まち・ひと・しごと創生総合戦略」ってどうだったんでしょう？

現在進行形でも、しっかり検証検討が必要だと思います。



## そう、水仙のような方でした



こんな年末に、でも、今年に間に合って良かったと思いながら、みなさんに議会レポートを、お届けできて本当によかったと思っています。

コロナに始まった今年。世界中がこんな状態になるなんて、思っても見なかったですね。誰もがそう思っています。

そして、良いことか悪いことかは別として、私たちの暮らしは、経済というつながりの中で動いている社会なのだということを、改めて思い知らされました。議会というすごく小さな環境は、ともすればすごく閉鎖的で保守的な世界です。でも、それでは議会としての目的、働きが活かされない。そこから始まった議会改革ですが、今年は特にその動きや視点が低迷しているように感じています。

会議をやれば、議員は働いてる～なんて思って、中身の無い、議論もできない状態で集まることも多いなあと、私は思っています。まだまだ、町の皆さんの議会に対する「見る・知る」が必要です。

そんな視点を持って、いつもこんなヘナチョコ議員を励ましてくれていた方が、突然亡くなられました。いつも背中をピンと伸ばし、励ましやお叱りや、意見を頂いてきた存在の方でした。寂しくて、残念で、心細い思いです。ご冥福をお祈りいたします。

齢を重ねる・・・ということを改めて感じました。  
次の若い人たちに、私たちができることはなんでしょう？  
公私含めて最近をよく考えます。  
コロナにあって、なかなか遠出ができない母とは近くの温泉や街探検。  
この環境の中で、できることを考えながら

これからもどうぞよろしくお願いします。次は3月議会で！



議会レポートをお送りするたびに、お電話、お葉書をいただけて来ました。そして数年前からは絵手紙です。添えられたメッセージに力を、勇気をいただきました。  
母の斜里高の同級生。  
ありがとうございました

ツイッターとフェイスブック で ほぼ毎日・情報発信しています。  
桜井あけみ か、SAKURAI AKEMIで検索してください。

- 議会レポートをブログの方に掲載します。
- 桜井あけみ「ふつう」の生活 で検索しても出て来ます
- <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。  
「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104



メールアドレスは  
koe@akemichan.net

携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。

文中の誤字脱字については、お許しく下さい。ごめんなさい・・・